



## 帯西の風物詩「全校かくれんぼ」

今日20日(金)に「全校かくれんぼ」が行われました。これは事前に、代表委員会の話合いで決まったのですが、学級閉鎖が続き開催も危ぶまれましたが、無事開催することができ胸を撫で下ろしました。

今回も、子供たちのアイデアを最大限に生かした「全校かくれんぼ」となりました。事前に、企画委員会からルール説明が配信されていて、それを学級で確認して今回のかくれんぼに臨んでいます。今回は、前回の反省を生かして、手首のバンドは、代表の子供だけではなく、全員がいろんな色を付けています。そして2色見つかったらアウトとなります。一口に全員がバンドを付けてと言っても、それを準備する人たちがいるのです。企画委員会の子供たちが、全校児童分のバンドをせっせと手作りで準備していた姿は脱帽ものでした。

全校かくれんぼが始まると、各教室に分かれて Zoom で、企画委員会からのルール説明があり、今回の話の設定が映像で流れました。今回は、博士が作ったジュースを、悪の科学者「だってマン」が帯西レンジャーに騙して飲ませ、ニセレンジャーがコピーとして作られ、鬼になるという設定です。さらに、だってマン、子分、博士も鬼役となることも伝えられました。また、本物の帯西レンジャーの背中に貼られている文字を並べ替えて一つの言葉にすると、見つかったら復活するチャンスが得られるということなどが伝えられました。

その後、隠れるためのカウントダウンが始まり、たてわり班ごとに校舎内、運動場と、隠れる場所を見つけ、息を潜めて隠れました。ただし、鬼は隠れている子供を見つけても、手首に付けているバンドを2色探し出さなければなりません。かくれんぼは2回戦が行われ、私も鬼となり、子供たちを探し出しました。しかし、子供たちは上手に隠れ、なかなか見つけることができませんでした。

子供たちの「全校かくれんぼ」を経験して、伸びた心と感想です。鬼役のレンジャーは、「👹 帯西イエロー:実際に鬼として教室に捕まえに行くと、みんな協力して隠れていて、作戦も立てていて所もあったからです。」「👹 帯西レッド:牢屋に捕まっていた人たちに、カードの説明をして、たくさんの方が復活することができたからです。」と述べました。また、隠れている子供たちは「👹 帯西グリーン:自分たちで力を合わせて準備したからです。」「👹 帯西イエロー:みんなのためにリストバンドを全員分作ってみんなのために動けたからです。」と述べました。

また、隠れる側のたてわり班長は「👹 帯西グリーン:みんなで力を合わせてルール違反をする人も少なかったし、作戦をみんなで考えてかくれんぼをすることができたからです。」とたてわり班の絆もさらに深まったようです。

今回の全校かくれんぼの開催を企画した企画委員長の平井さんは、「これまでたくさん準備して、昼休みも朝からも集まって、動画撮影など大変だったけど、みんながルールを守ってくれて楽しいかくれんぼになってよかったです。」と述べています。今年で3年目の「全校かくれんぼ」は帯西の風物詩として、全校で「わくわく」しながら、子供たちの成長を感じる大切な行事の一つとなっています。

